

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書		H30年 6月 29日	
滋賀県知事 三日月 大造殿			
提出者			
住所 滋賀県東近江市柴原南町字深谷1592-27			
氏名 株式会社大紀アルミニウム工業所 滋賀工場 滋賀工場長 今井保治			
電話番号 0748-23-5757			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、平成29年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社大紀アルミニウム工業所 滋賀工場		
事業場の所在地	滋賀県東近江市柴原南町字深谷1592-27		
事業の種類	2 3 2 2 アルミニウム第2次製錬・精製業 (アルミニウム合金製造業を含む)		
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日		
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	150.887 t	全処理委託量	74.25 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	55 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	40.85 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

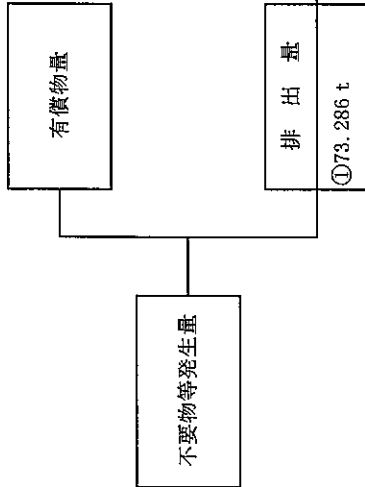
(日本工業規格 A列4番)



ばいじん (黒ダスト)

(特別管理産業廃棄物の種類 :

計画の実施状況



自ら直接再生利用した量	②0t
自ら直接埋立処分した量	③0t

自ら中間処理した後再生利用した量	⑧17.979t
------------------	----------

項目	実績値
①排出量	73.286t
②+③自ら再生利用を行った量	17.979t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	12.797t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	42.51t
①優良認定処理業者への処理委託量	42.51t
②再生利用業者への処理委託量	0t
③熱回収認定業者への処理委託量	0t
④熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

自ら中間処理した後の残さ量	⑥17.979t
自ら中間処理により減量した量	⑦12.797t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨0t
----------------------------	-----

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩42.51t
---------------------	---------

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫0t
-------------------	-----

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬0t
--------------------	-----

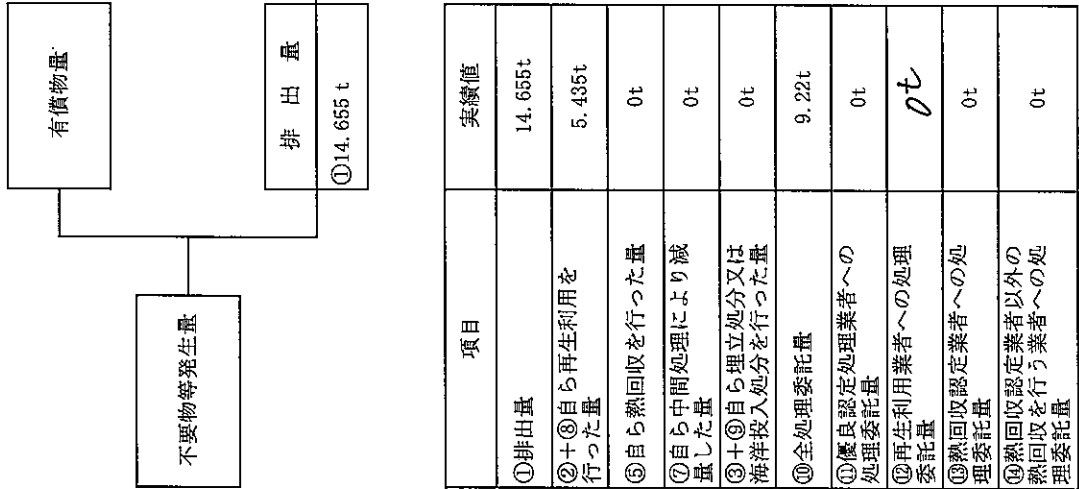
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭0t
-------------------------------	-----

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪42.51t
---------------------	---------

ばいじん (白ダスト)

(特別管理産業廃棄物の種類 :

計画の実施状況



自ら中間処理した後に再生利用した量
⑧0t

自ら直接再生利用した量
②5,435t

自ら直接埋立処分した量
③0t

排出量
①14,655t

自ら中間処理した後に埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨0t

自ら中間処理した後の残さ量
⑥0t

自ら中間処理した量
④0t

自ら中間処理により減量した量
⑦0t

④のうち熱回収を行った量
⑤0t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩9,22t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬0t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭0t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑰0t

項目	実績値
①排出量	14,655t
②+⑧自ら再生利用を行った量	5,435t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	9,22t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。